



アルミと樹脂の複合サッシ シンフォニー 上げ下げ窓

組立て説明書

■組み立てられる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …組立てを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 障子の外れ・落下防止のため、下記事項を厳守してください。
- 障子建込み後、障子上部を手前に引いて外れないことを確認してください。
- 障子が勢よく開いて、けが・部品破損の原因になるおそれがありますので、下記事項を厳守してください。
- 障子は必ず枠を立てた状態で建て込んでください。
- 障子建込み後は、枠固定時までクレセントをかけておいてください。
- 漏水防止のため、下記事項を厳守してください。
- 縦枠下部のプチルリケイ紙を必ずはがしてください。
- 縦枠両側に張り付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠のまわりにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。
- ねじは2.5±0.5N・m {25±5kgf・cm} のトルクで止めた後、ゆるみ・がたつきのないことを確認してください。

■組立て上のお願

- 必ず指定のねじで組み立ててください。
- 取付けは、「取付け説明書」をご覧ください。
- 取付け説明書及び外枠取付け用・額縁取付け用部品セットは、必ず施工される方にお渡しください。
- 枠を躯体に取り付けてから障子を建て込む場合は、必ず施工される方に障子建込み用部品セットをお渡しください。
- ガラス寸法はダンボールまたはカタログをご覧ください。
- グレイジングチャンネルは別売りです。ガラス厚に応じて選択してください。
- FIX部のガラスは、障子を建て込む前に入れてください。
- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当たった状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
- 組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
- 連窓・段窓する際は、必ず連窓方立・段窓無目の組立て説明書もご覧ください。
- 専用部品の取付けおよび組立ての手順が異なります。
- バランス部品箱は別売りです。

■部品・ねじ一覧表

※本文図中の①～⑩は、部品・ねじの種類を示します。

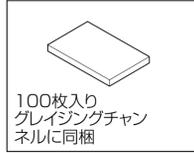
外枠組立て用			障子組立て用		
①	②	③	④	⑤	⑥
φ4×35ナベタッピンねじ	φ4×70ナベタッピンねじ	プッシュボタン	φ4×25バインドタッピンねじ	ピボット	M4×6トラス小ねじ
障子建込み用					
⑦	⑧	⑨			
アームスライダー	M4×6トラス小ねじ	障子ストッパー			

■別売り部品

●グレイジングチャンネル

種類	ガラス厚18~20mm用		ガラス厚21~22mm用	
	18mm	19mm	20mm	22mm
グレイジングチャンネル				
		1枚ハクリしてご使用ください。	2枚ハクリしてご使用ください。	1枚ハクリしてご使用ください。
		室外側	室内側	室外側 室内側

●ガラスコーナースील



■バランス部品箱(別売り)一覧表

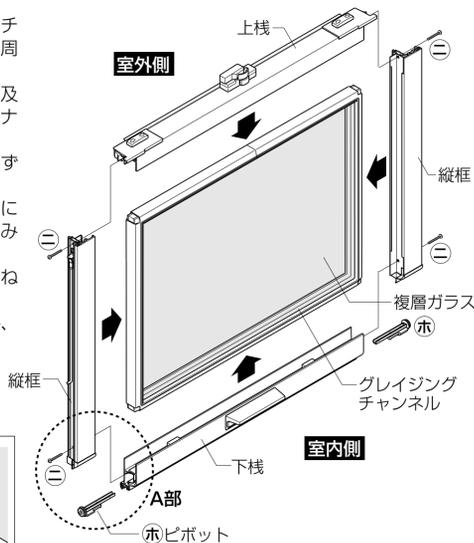
※本文図中の⑪・⑫は、部品・ねじの種類を示します。

バランス取付け用	
⑪	⑫
M4×10バインド小ねじ	バランス

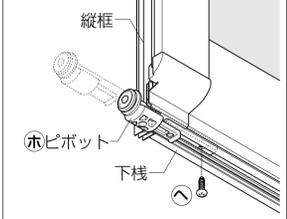
■組立て順序

1 障子の組立て

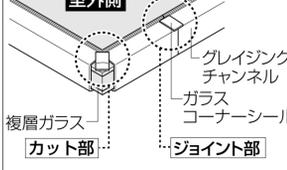
- ①ガラス厚に合ったグレイジングチャンネル(別売り)を、ガラス4周に回します。
- ②ガラス室外側の4隅のカット部及びジョイント部に、ガラスコーナースील(別売り)を張ります。
※高断熱・高気密住宅の場合、必ず実施してください。
- ③ガラスコーナースीलを室外側に、ガラスを上下枠に差し込みます。
- ④左右縦枠を差し込み、上下枠とねじで固定します。
- ⑤下枠にピボットを奥まで差し込み、ねじ止めします。



■A部詳細図

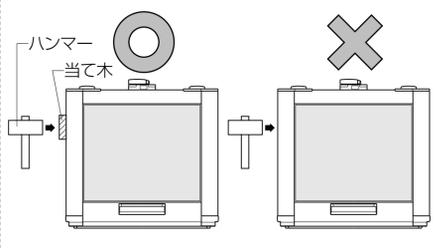


■室外側



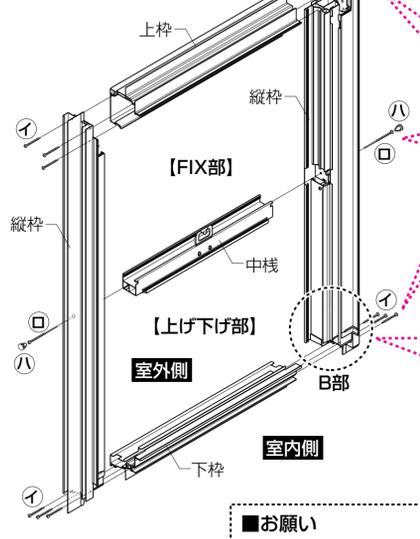
■お願い

※組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。



2 枠の組立て

- ①各部材の向きを合わせてねじ止めします。



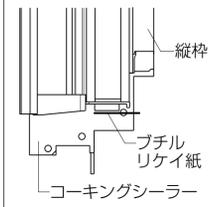
▲注意

●ねじは2.5±0.5N・m {25±5kgf・cm} のトルクで止めた後、ゆるみ・がたつきのないことを確認してください。

▲注意

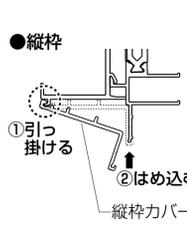
- 縦枠下部のプチルリケイ紙を必ずはがしてください。
- 縦枠両側に張り付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠のまわりにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。

■B部詳細図

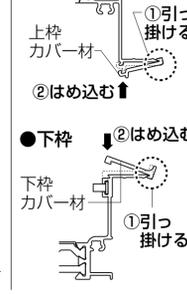


■お願い

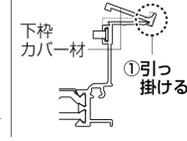
※カバー材が外れている場合は、取り付けてから組み立ててください。



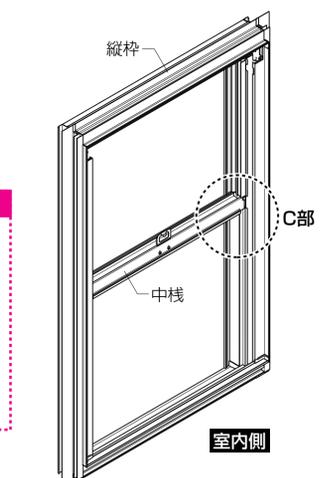
●上枠



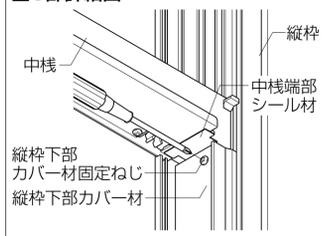
●下枠



- ②左右の縦枠下部カバー材の固定ねじをゆるめます。縦枠下部カバー材を中枠端部シール材がつぶれるまで突き当てた後、固定ねじを締め直します。



■C部詳細図



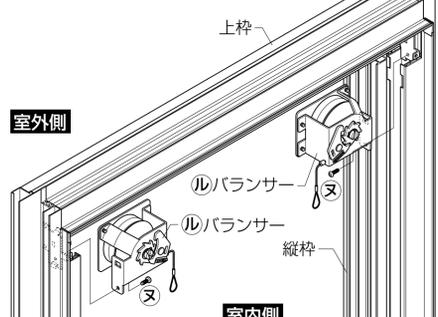
3 バランスの取付け

■お願い

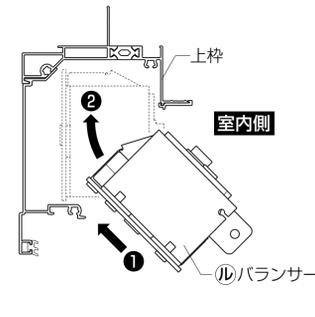
- ※障子建込み前にバランスのワイヤーを引き出ししたり、ラチェットホイールを回したりは絶対にしないでください。
- 障子が建て込めなくなったり、バランスが破損したりすることがあります。
- ※バランスの正面に部品番号の刻印がありますので、その末尾で、L(内観左)・R(内観右)を確認してください。



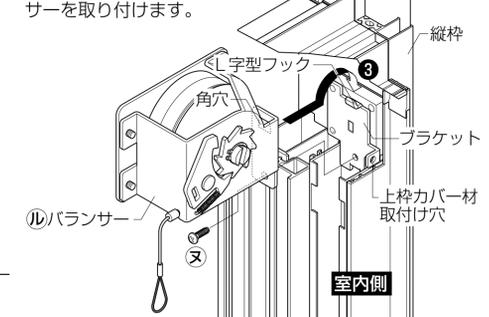
- ※ガラス厚さ・基本H・W寸法によって使用するバランスが異なります。取付け前にバランスの機種を確認してください。
- ※バランスは、枠組立て前・枠組立て後・FIX部のガラス入れ後のいずれでも縦枠に取り付けることができます。



- ①バランスを45°傾けて、上枠に差し込みます。
- ②バランスの軸が室内側正面を向くように回転させて上枠に納めます。



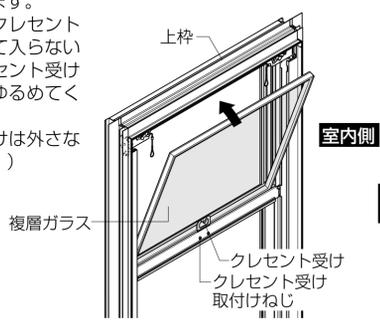
- ③バランスを縦枠側にスライドさせ、縦枠についているブラケットのL字型フックにバランスの角穴を引っ掛けます。
- ④バランスをブラケットにねじ止めします。
- ⑤同様にもう一方のバランスを取り付けます。



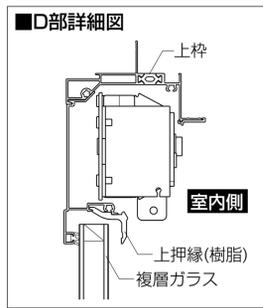
■組立て順序

4 FIX部のガラス入れ

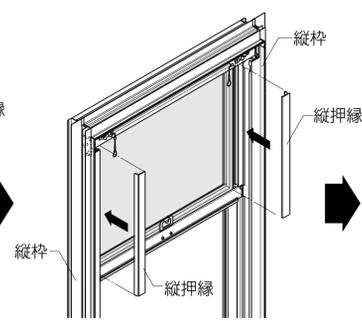
①ガラスを入れます。
※ガラスが厚くクレセント受けに当たって入らない場合は、クレセント受け取付けねじをゆるめてください。(クレセント受けは外さないでください。)



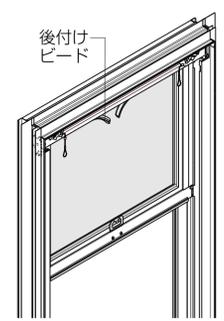
②上押縁を取り付けます。



③縦押縁を取り付けます。



④後付けビードを回します。



5 障子の建込み

①バランスーに引っ掛かっているワイヤーを外し、縦枠内に垂らします。

②ワイヤーの先端をピボットの溝にはめ込みます。

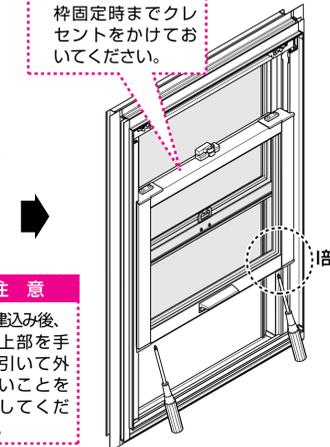
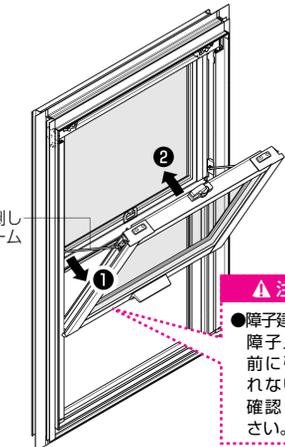
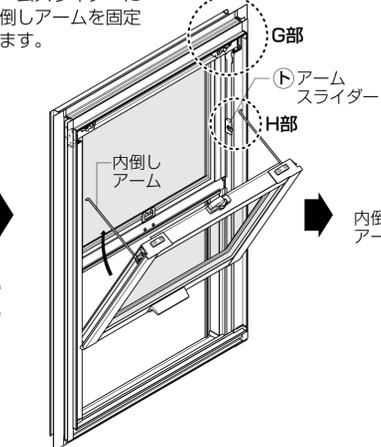
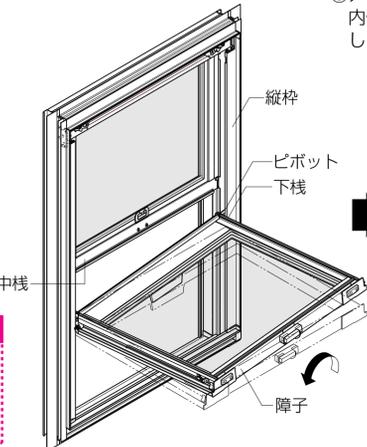
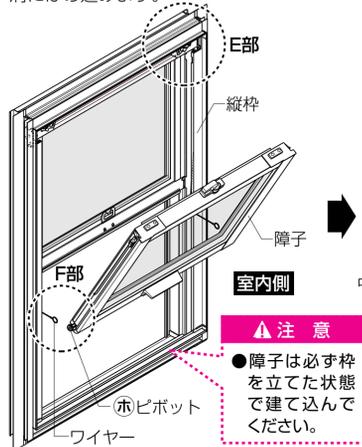
③障子の下線を中棧より下に引き下ろし、障子を斜めにしてピボットを縦枠の中に差し込みます。

④アームスライダーの「室内」表示を室内側に向け、縦枠の切欠きから差し込みます。※H30未満には内倒しアームがついていませんので、アームスライダーは使用しません。

⑤アームスライダーに内倒しアームを固定します。

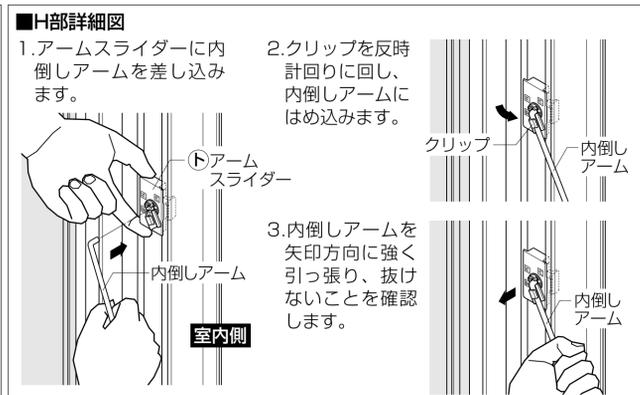
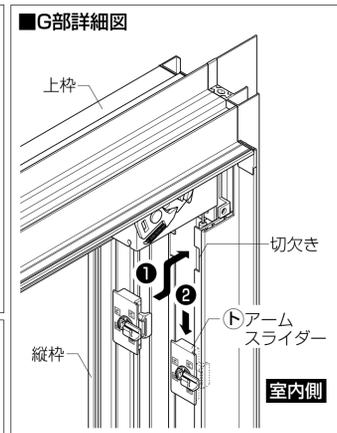
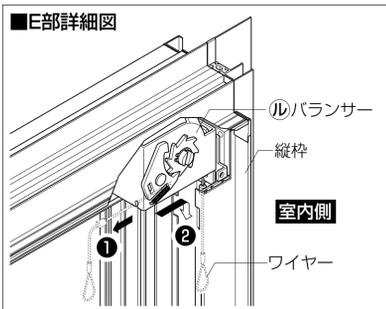
⑥内倒しアームを押し下げながら(1)、障子を起こし、「カチッ」という音がするまで室外方向に押し付けます。(2)

⑦ピボットのねじ位置を調整します。

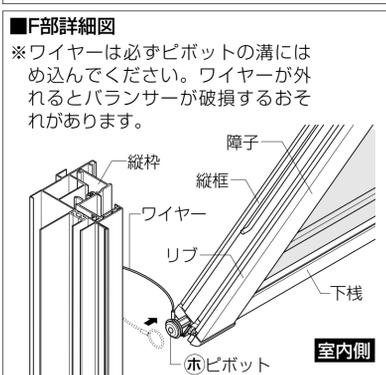
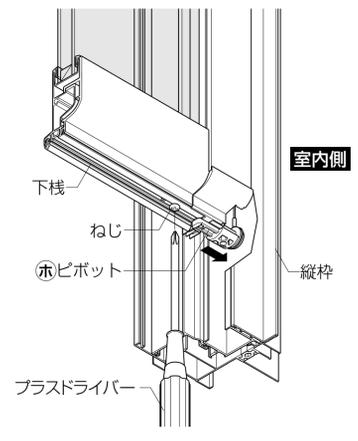


▲注意
●障子建込み後は、枠固定時までクレセントを掛けておいてください。

▲注意
●障子建込み後、障子上部を手前に引いて外れないことを確認してください。



■I部詳細図
1.ピボットが左右に動く程度にねじをゆるめます。
2.ピボットを縦枠の奥まで差し込んでねじを締めます。
3.左右とも固定した後、障子が大きくガタつかないことを確認します。
※まったくガタがないと施工状態等によっては開閉が重くなる場合があります。1mm程度のガタが適正です。

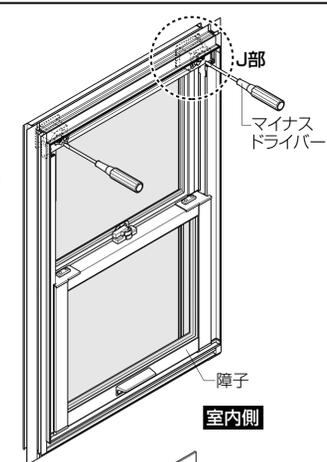


6 バランサーの調整

※バランスーの調整は、枠固定後にも必ず行ってください。

①障子を一番下に下げます。
②障子の上げと下げの力がほぼ同じになるよう、バランスーのラチェットホイールの軸をマイナスドライバーで回して調整します。

※左右とも同じ回転数にしてください。ラチェットホイールを回しすぎたときは、クリックの穴にマイナスドライバーを差し込んで回し、戻してください。



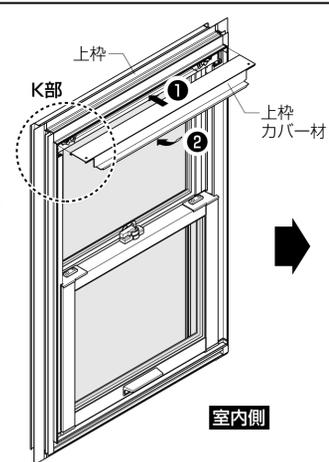
7 上枠カバー材の取付け

①上枠カバー材を図の向きで上枠の突起に押し当てます。(1)

※左右の角度を傷つけないようにしてください。

②そのまま90°回転させます。(2)

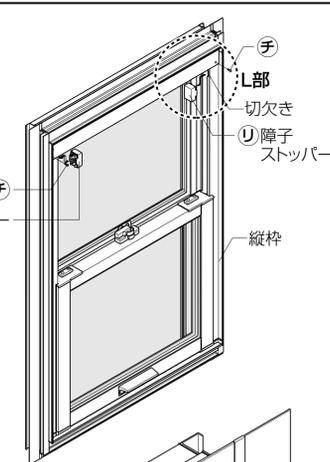
③矢印部を押し上げて上枠カバー材をたわませながら(3)、上押縁にはめ込みます。(4)



④上枠カバー材を上枠カバー材取付け穴にねじ止めします。

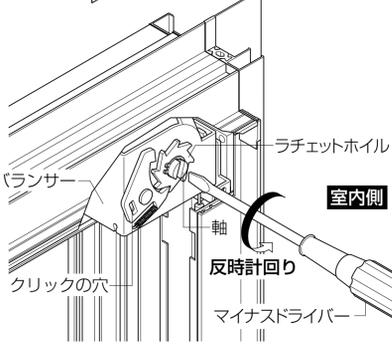
⑤障子ストッパーを縦枠の切欠きに水平にはめ、「パチン」と音がするまで押し付けます。

①障子ストッパー

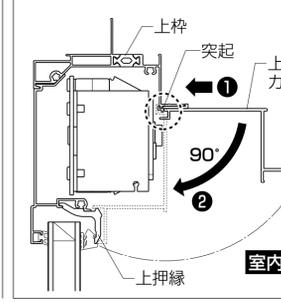


■J部詳細図

※図はR(内観右)を示します。このときラチェットホイールの回転方向は反時計回りです。
※L(内観左)は逆回転(時計回り)です。



■K部詳細図



※上枠カバー材を外す場合、取付けねじを外しても上枠カバー材が外れないときは、下記同様に上枠カバー材を押し上げて外してください。

■L部詳細図

